

## 令和4年度地域ケア会議区レベル会議 検討資料

## 【テーマ】

「認知症高齢者及びその家族のための社会参加支援や地域コミュニティづくり」  
に向けた取組

認知症高齢者（若年性認知症の方を含む）も、様々な活動を通じて社会に参加し、有する能力を効果的に発揮いただくことで、高齢者の方が生きがい・やりがいを見出し、また、地域の活性化にもつながることが期待できます。

## (社会参加の一例)

- 認知症カフェ …… 認知症の人やその家族が参加者同士の会話や、医師の講話、専門職への相談、認知症予防・改善のための体操などのプログラムを「お茶を楽しみながら」受けられる。
- 認知症高齢者の就労 …… 例)ディーラーの展示車の洗車をする、レストランで接客係をする、植木職人の経験を活かして門松をつくる 等
- 認知症の当事者としてできることをする …… 当事者の相談にのる、講演をするなど。



## (大田区の認知症施策に係る近況) ※下記は令和5年2月時点の情報となります。

- 認知症カフェ展開に係る民間事業者(デニーズ)との協働の調整
- チームオレンジ\*事業の展開に向けた取組  
\*ステップアップ研修を受講した認知症サポーターを、地域の認知症支援に係る活動へ案内することで、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターをつなげる仕組み。地域資源に係る情報の把握を図っている。
- 若年性認知症の方による、東邦大学看護学部キャンパス内の緑地帯手入れ等に係る有償ボランティア(大田区若年性認知症デイサービス事業 HOPE 事業の利用)
- 若年性認知症の方による、ふれあいパーク活動としての児童公園の清掃等ボランティア(登録グループへの報償あり)



認知症高齢者の社会参加が促進されるためには、行政のみならず、地域や民間団体・事業者等の連携協力のもとで、さらには民間主導で居場所づくりを図っていただくようになることが望ましいと考えます。

- ほかにどのような社会参加の方法が考えられるか？
- 連携協力先となる民間団体・事業者はどのような先が考えられるか？  
また、どのような連携が図れるか？ 等